

平成13年11月 (2001年) No. 431

お陰様で大盛会 第41回OMC映像フェスティバル無事終了

去る10月21日開催しました第41回OMCフェスティバルは、朝からあいにくの小雨がぱらつく天候で観客の出足が心配されましたが定刻の13時にはほぼ満員の入りでほっとしました。大阪地区での久しぶりの公開映写会ということもありましたが、伝統あるOMCの発表会ということで期待して来て頂いた方もあると思います。四国高松市のベテラン映像作家・今田 守様が仲間数人と共に会場に見えられる等、各地の映像会のリーダーの方々のご来場を頂き感謝感激の至りです。満員の観客は休憩後もお帰りになられる方はほとんどなく、ラストまで大入りだったのは、やはり作品上映に惹かれてのことと思います。藤原世話役が準備された音響装置の素晴らしさは特に演出効果を引き立てたようで大変好評でした。また来年の発表会を目指し、良い作品への取り組みを始めましょう。

■祝電を頂いた方々：日本アマチュア映像作家連盟会長・加藤雅巳様、東京アマチュア映像連盟会長・川上勝晤様、中国映像連盟理事長・松原博臣様、新潟県アマチュア映像連盟会長・川辺明彦様、東京映像会長・渡会 猛様、銚子映像クラブ代表・堺敬生様、神戸映像会長・大野要範様、明舞ビデオ友の会会長。本田裕信様、京都シネクラブ会長・中嶋哲様以上9通

■ご祝儀を頂戴した方：平野映像塾塾長・松村長二郎様

11月18日(日曜日)は大阪アマチュア映像祭です

大阪市中央図書館5階講堂にて12時半開場、13時上映。ぜひご来場を!

■うつぼ公園、花と彫刻展、ミニ撮影会が行われました

作品研究会の一環として昨年同様、上記イベントの撮影会は10名の参加を見て皆熱心に撮影に取り組みました。12月研究会で取り上げます。撮影会に来られなかった方も別の日に撮影されている方は作品をお持ちください。

11月例会のお知らせ

11月例会は24日(第4土曜日)午後6時から、阿倍野市民学習センターにて開催します。月1回例会です。どうぞ作品をお持ちになってお集まりください。楽しいひとときを過ごしましょう。

10月作品研究会のレポート

前月に引き続き、例会日の午後1時30分より、阿倍野市民学習センターにて作品研究会を開催、特にテーマはなかったので集まりが懸念されましたが、11名の参加と7本の研究会用作品が出品され、有意義な研究会となりました。今月は合原氏と関氏が、以前に撮ったS-VHS作品やHi8作品とパソコンに取り入れた後の結果と取り入れ前の比較上映して、その違いについて徹底的な検証が行われました。

■今月の作品研究会出席者：有村、江村、奥、合原、華岡、関、前田、増池、安居(利)、那須、森田、以上11名(敬称略)

1. S-VHS→DV→パソコン→DVにダビングしたテストの作品：合原さん「荒野の鉄路」というニュージーランドで撮影した5年前の作品をまずDVにダビングし、それをさらにパソコンに取り入れ、オーバーラップをかけたり、ノイズを消したりして質の向上を図ったテストもの。S-VHS作品も一度パソコンに入れてDVテープにしたら画質も良くなるということを実感しました。

2. Hi8→パソコン→DVにダビングしたテスト作品：関さん、同様に Hi8 からのテスト作品。クレジットタイトルのブルーバックの締まりが良くなったなど全般的に画質の向上が実感されました。題名は「冬の湖」。

3. あほとちがうか490ギガ：安居(利)さん8分10秒。息子さんから大容量のパソコンを組み立ててもらったとご満悦の様子がよく描かれていました。

4. 夏の夕べ：増池さん、3分45秒。夕方から夜にかけて臨空タウン公園で撮影された作品。オートで撮られたので、遠くに上がる花火が真っ白で露出オーバーになっているなど、夜景や花火とマニュアル撮影についてのよき研究材料となりました。

5. 夏・北海道：那須さん、6分20秒。昨年8月美瑛と富良野で撮影されたもの。美しい花畑や花のアップがふんだんに出てきます。麦の収穫風景も北海道らしいスケールの大きさを表していました。一部小さなノイズが出たので、その原因などにつき話題が付きませんでした。

6. じじ馬鹿日誌・孫の巻：有村さん、10分0秒。ある一日お孫さんに密着撮影。ホームムービーについて、いろいろな意見の交換があり勉強になりました。

7. タイでダイブ：森田さん、7分45秒。水中撮影用のカメラケースだけで20万円もするという。水中撮影の本格派作者。今回はタイ・シュミラン諸島の海で、20m潜って撮影された由。20mも潜ると、カラフルな色もブルー化して単調な少し暗い世界に一変します。ですが、魚は一杯の海の宝庫であります。珍しい映像なので夜の例会でも上映しました。

以上で作品研究会は終了しましたが、今日28日(日曜日)9時から鞆公園にて「花と彫刻展」をテーマにミニ撮影会を行い、12月作品研究会に持ち寄って研究テーマにすることにしました。

10月例会のレポート

会場の都合でいつもより1週間早い第3土曜20日の例会日でしたので、集まりが懸念されましたが、22名の集まりと9本の作品でまずまずの例会となりました。今月の司会は安居氏、書記：合原氏、デッキ係は奥氏と関氏、受付兼照明係は増池氏の担当で会を進行しました。

出席者：有村、江藤、江村、今井、奥、河合、合原、関、華岡、那須、藤原、金子、中尾、前田、増池、進藤、森下、森、松本、久一、安居夫妻以上22名(敬称略)

■上映作品（今月の講評は合原会長です。）

1. 再生 江村 一郎さん 6分18秒

先月の作品研究会で出品された折、いろいろと意見や助言を受けたので、再度作り直して持参したという作品。玄光社より14万円も出し移動撮影機を手に入れ、大台ヶ原で実験的に使われて撮影した作品。今回は長すぎた移動カットも適当にカットされて短くされていたので、見やすくなったという声が出ました。”新兵器”の威力は、それなりに効果があるようです。

2. スイスの旅・パート3： 那須典彦さん 6分00秒

スイスらしい雪を抱いた美しい山並みとお花畑がふんだんに出てきて、目を楽しませてくれます。今回は山の名前などを入れてなくて、入れた方がよいのではという意見が出されたので、今回は、きちんと名前を入れましたとは作者の弁。綺麗な絵作りは定評の那須作品。楽しく拝見しました。

3. 森林植物園 増池 茂さん 5分55秒

神戸にある森林植物園でカメラの撮影会があったので、同行して撮影してきたと作者の説明。あじさい園のゾーンで、カメラマンの姿などもどしどし取り込んで雰囲気伝えておられます。あじさいの花がほぼ一定のサイズで撮っておられるので、もっと超アップとかを入れて変化させたら、などの意見がだされました。

4. お月見の茶会 安居良枝さん 7分20秒

妹さんが現在の庭付きの一戸建の住宅からマンションへ引越されるので、引越し前の最後の茶会を開くというので行って来たという作者の説明あり。撮影というのでお茶の生徒さん7名全員が着物姿でやって来られ、お茶会が始まりました。所作の説明が入りますので、お茶の作法が判り易くなっています。ラストのナレーションで「時の流れをひしひしと感じた一日でした。」とありますが、どういう風に感じられたのか今ひとつ判りません。お茶会というのにオーバーラップの多様で慌ただしく画面が変わるのも考えものです。何故、お茶を教えている先生が庭付きの一戸建てを捨ててマンションに移らねばならないのか、そのあたりを追求された構成を考えられたら、社会性を帯びた素晴らしいドキュメンタリー作品になると思いますので、是非頑張って来年のフェスティバルを目指してください。

5. 梅小路のSL 安居利次さん 8分10秒

安居さん、今度は京都梅小路の蒸気機関車をテーマに取り組みまれて立派な作品に仕上げられました。チンチン電車といい、SLといい動く乗り物には格別の興味があられるようです。普通SLを描いた作品は、広い大地や走る勇姿を描いたものが多いのですが、狭い構内だけの撮影で、よくまとめられたとSLマニアの前田さんがその企画力には脱帽したとのコメントがなされました。インターネットの静止画は画質も落ちるので使わない方がよい、との意見もありました。

6. 秋彩る 有村 博さん 7分05秒

美しい山の紅葉を中心に豊富な画像を駆使して、秋の彩りを表現されました。湖に逆さに写った山の影など印象的な画面があちこちにあってすっかり惹きつけられてしまいました。アナログで星形のマスクワークを入れたところには異論が多く出されました。しかし、綺麗な作品でした。

7. あそBOYでいく阿蘇 江藤洋司さん 12分00秒

「あそBOY号」というSLで熊本から阿蘇の麓にある宮地という駅まで週末に走っているのが撮ってきたと作者の言葉。阿蘇は江藤さんの故郷とか。今回は前田さんも同行しての共同撮影となったが、編集は江藤氏が一人でやられたとか。今までの江藤作品に比べて格段の進歩が見られる。今後が楽しみな若手会員さんです。作品もよくまとめておられました。

8. みちのくは今

河合源七郎さん

5分00秒

一週間前に撮影してきたという八甲田山と奥入瀬溪谷との秋の風景ですが、ほとんどが雨が曇りで残念でした。紅葉には少し早かったようです。前半は霧で煙る風景で、これはこれで魅力のあるもので良かったが、後半はロングばかりで平凡になってしまったと、関氏の感想。雨に打たれたアップのカットも入れたら良かったという助言がありました。

9. タイでダイブ

森田光春さん

7分45秒

昼間の作品研究会で上映したのですが、研究会に来られなかった方のために夜の例会に再上映したもの（短評は研究会レポート参照）。

以上で例会を終了し、明日の公開映写会へのことなどの説明があって8時半過ぎに二次会へと席を移しました。

■今月のインターネット作品

江村さんの「再生」です。

■インターネット情報

毎月このコーナーを書くのが楽しみである。1ヶ月間にいろんなインターネット関連の情報が報道されるからです。毎月のように ADSL が安くなったどうのこうの等、いささか食傷気味ではあるが、それだけ官民を挙げて日本のネット通信の発展・向上に取り組んでいる様子が伺えて頼もしい限りである。お隣の韓国がインターネット先進国といわれているのに対し、インターネット後進国日本が必死に追いかけている状況です。しかしこの1年間の動きを見ていると、我が国がインターネット・インフラにかける投資はすごいものがあり、比較的早い時期に追いつき、追い越すことができるといわれています。日本の資金力・経済力はやはり世界第2位の實力があり、規制撤廃による官民挙げての取組が軌道に乗ってきたからに他なりません。

インターネット通信方式の変遷は：

14.4Kbps → 28.8Kbps → 34Kbps → 56Kbps・・・アナログ・モデム通信

ISDN (64K+64Kbps)ナローバンド

CATV (500Kbps ~?)ブロードバンド (以前から供用中)

ADSL (1.5 ~ 1.6Mbps)ブロードバンド (供用中)

ADSL (8Mbps)ブロードバンド (供用開始)

FTTH (一般用 10Mbps、業務用 100Mbps) ..ブロードバンド (一般用が供用開始、業務用は以前から供用中)

電力線ネット (24Mbps)ブロードバンド (関西電力が開発中)

と、各種の方式がしのぎをけずっています。目下の所は以前から供用されてる CATV 方式が一番多いようですが、ランニングコストが高いのと速度がさほど速くない (高速化検討中?) のとで、ネットインフラとしての伸びは頭打ちになるのでは? と思います。一方の ADSL は高速度が売りものと、コストの安さから急速に伸びています。前から本命といわれていた光ファイバー (FTTH) ですが、安い ADSL の伸びに押されて今一のようなようです。来年には登場するか? と期待されている電力線ネットと三つ巴の激しい競争が展開されるのではないのでしょうか? 将来的にはどうなるのか? 誰にも予測がつかないのが実状ですが、FTTH を押す東西 NTT は、現在販売中の一般用 FTTH (10Mbps) を 10 倍の速度にする計画を打ち出しました。これは以前に指摘したように、Yahoo の 8Mbps とさして変わらない光ファイバー方式なんてナンセンスと書きましたが、どうやら私の予測が当たったようです。以下に関連記事を紹介します。

(スペースの関係で、以下はネット版をご覧ください。)